

心電図モニター(DS-8700/DS-8007M) 一式

仕様書概要

地方独立行政法人大牟田市立病院

2025年3月

I. 調達物品名及び構成内訳

心電図モニター（フクダ電子 DS-8700/DS-8007M）一式

（主な構成内訳）

セントラルモニタ(24インチ)	1台
搬送用モニタ(7インチ)	4台
生体情報モニタシステム	1式
その他上記機器に必要なソフトウェア等	

II. 調達物品に備えるべき機能及び性能

上記調達物品は以下の要件を満たすこと。なお同等若しくはそれ以上の機能を有するものと判断される場合も可とする。

1. セントラルモニタにおいて以下の要件を満たすこと

1-1 構成

- 1-1-1 本体部、表示部、受信部、記録部が一体型であること。
- 1-1-2 記録部、受信部は必要に応じて増設可能であること。
- 1-1-3 有線・無線混在で32床以上のモニタリングが可能であること

1-2 表示部

- 1-2-1 ディスプレイは静電容量式タッチパネルを採用していること。
- 1-2-2 タッチパネル以外に全床アラーム音中断、ホームキーを固定キーとして有すること。
- 1-2-3 解像度は1920×1080dot 以上 Full HDであること。
- 1-2-4 表示部に内蔵されたアラームインジケータを有すること。
- 1-2-5 表示色は、色調ごとに12色の表示色が1パレットにグループ化されており、4パレット以上有すること。

1-3 画面構成

- 1-3-1 操作を簡単にするためのユーザーキーを基本画面、個人画面にそれぞれ設定できること。
- 1-3-2 基本画面のユーザーキーは10個以上設定可能であること。
- 1-3-3 個人画面のユーザーキーは10個以上設定可能であること。
- 1-3-4 画面構成を最大10種類登録可能なこと。
- 1-3-5 患者の容体に応じて、表示する波形数、計測値数を変更できること。
- 1-3-6 1波形、1計測値表示の患者と、複数波形表示、複数計測値表示の患者が基本画面で混在できるフレキシブルレイアウトが可能なこと。
- 1-3-7 モニタリングしている人数に応じて、画面を最適化する機能を有すること。
- 1-3-8 基本画面で個人を選択したときに、他の患者の情報を隠すことなく、ベッドサイドモニタ同様の表示画面をセントラルモニタ上に表示可能であること。

1-4 表示項目

- 1-4-1 患者情報エリアには、床番号/チャンネル、患者名/部屋名称、性別、患者IDが表示可能であること。
- 1-4-2 患者情報エリアには、アラーム履歴もしくはコメントを表示可能であること。
- 1-4-3 患者区分は、成人/小児/新生児から選択可能であり、選択されている区分を基本画面にアイコン表示できること。
- 1-4-4 以下の波形が表示可能であること。
心電図 (ECG)、呼吸 (RESP)、観血血圧 (BP1~8)、動脈血酸素飽和度 (SpO2-1、SpO2-2)、炭酸ガス濃度、(CO2)、酸素濃度 (O2)、麻酔ガス濃度 (AGENT)、気道内圧 (AWP)、気道流量 (AWF)、換気量 (AWV)
- 1-4-5 以下の数値が表示可能であること。
心拍数、呼吸数、体温、動脈血酸素飽和度、脈拍数、観血血圧、非観血血圧、CO2 (炭酸ガス濃度)、酸素濃度 (O2)、笑気濃度 (N2O)、麻酔ガス濃度 (AGENT)、SvO2 (混合静脈血酸素飽和度)、CCO (連続心拍出量)、CCI (連続心係数)、BT (血液温度)、SpCO (カルボキシヘモグロビン濃度)、SpMet (メトヘモグロビン濃度)、SpHb (トータルヘモグロビン濃度)、PI (灌流指数)、PVI (脈波変動指標)、MVe (呼気分時換気量)、TVe (呼気 1 回換気量)、TVi (吸気 1 回換気量)、PEAK (最高気道内圧)、PEEP (呼気終末陽圧)、MEAN (平均気道内圧)、ScvO2 (中心静脈血酸素飽和度)、rSO2 (局所酸素飽和度)、BIS
- 1-4-6 人工呼吸器の情報を、ベッドサイドモニタを経由して表示可能であること。

1-5 操作

- 1-5-1 タッチパネル、マウス、キーボードでの操作が可能であること。
- 1-5-2 入床の手間と入力ミス防止の為、磁気カードリーダーやバーコードリーダーでの入床が可能であること。
- 1-5-3 記録キーは各床毎に表示されていること。
- 1-5-4 個別アラーム音中断キーと、全床アラーム音中断キーをそれぞれ有すること。
- 1-5-5 操作の簡素化の為、頻繁に使用する機能をショートカットキーとして10個以上設定可能であること。
- 1-5-6 入退床の処理が電子カルテと連動して実施できること。

1-6 各種機能

- 1-6-1 IEC 規格に準拠したアラーム動作、FUKUDAオリジナルのアラーム動作の選択が可能であること。
- 1-6-2 各計測値に対して上限・下限アラームが設定可能であること。
- 1-6-3 上限・下限アラーム設定値にリミットを設定可能な機能を有すること。
- 1-6-4 アラームは重症度で5段階のレベルに分類されており、そのレベルは設定可能であること。
- 1-6-5 アラームインジケータは360度から視認可能なこと。
- 1-6-6 アラームインジケータの発光パターンを重症度に応じ10パターンから選択可能なこと。
- 1-6-7 アラーム音は、音量・音色を3段階のレベルで設定可能であること。
- 1-6-8 アラーム発生時の波形を確認できる機能を有すること。
- 1-6-9 アラームが発生した床は波形背景を重症度に応じた色で点灯させ、アラームの発生を容易に認識することが可能であること。

- 1-6-10 アラーム要因が消失した場合でも、過去にアラームが発生したことを告知するアラームアイコンを表示できること。
- 1-6-11 アラーム要因が消失した場合、アラームアイコンを押すと最新のイベントリストを表示可能であること。
- 1-6-12 リスクマネジメントの観点から、管理者以外が一定音量以下に下げられない音量下限値設定機能を有すること。
- 1-6-13 ベッドサイドモニタと、患者情報、アラーム設定が同期すること。
- 1-6-14 有線でベッドサイドモニタと接続されている時、アラーム音中断、モニタリング中断が同期すること。
- 1-6-15 アラーム音中断操作の同期・非同期は設定で選択可能であること。
- 1-6-16 セントラルモニタから、ベッドサイドモニタの NIBP 測定スタート/ストップが可能であること。
- 1-6-17 セントラルモニタとベッドサイドモニタの時刻が同期すること。
- 1-6-18 セントラルモニタから、ベッドサイドモニタの夜間モードの開始/終了が可能であること。
- 1-6-19 不整脈解析機能を有し、その項目は 27 項目以上であること。

1-7 レビュー機能

- 1-7-1 計測範囲は0, 4~150bpm の範囲で測定が可能であること。
- 1-7-2 インピーダンスでの計測が可能であること。
- 1-7-3 無呼吸時間 (APNEA) の計測が可能であること 128 波形 120 時間もしくは 64 波形 240 時間の波形記憶機能を有すること。
- 1-7-3 長時間波形画面に、心房細動の評価などに役立つ瞬時心拍トレンドを表示可能なこと。
- 1-7-4 アラーム検索、時刻検索が可能であること。
- 1-7-5 各床最大 1000 件のリコール波形記憶ができること
- 1-7-6 リコールリストを 18 件同時に表示可能であること。
- 1-7-7 手動にてリコールへ波形を保存する機能を有すること。
- 1-7-8 グラフトレンド、リストレンドともに、最大 240 時間の記憶が可能であること。
- 1-7-9 グラフトレンドの表示間隔を 20 分/1/2/4/8/12/16/24 時間から選択できること。
- 1-7-10 リストレンドの表示間隔を 10 秒/30 秒/1/2/2.5/5/10/15/30/60 分/NIBP から選択可能であること。
- 1-7-11 退床した患者についても、最大 240 時間前までの長時間波形・グラフトレンド・リストレンド及び最大 1000 件のリコール波形を閲覧・記録が可能であること。
- 1-7-12 ベッドサイドモニタで解析した 12 誘導解析結果を 1 床あたり 64 件保存可能であること。

1-8 記録

- 1-8-1 3ch サーマルレコーダ、レーザープリンタを接続可能であること。
- 1-8-2 記録時間は、12 秒、24 秒、連続から選択可能であること。
- 1-8-3 遅延時間は、なし/8秒/16 秒から選択できること。
- 1-8-4 レーザープリンタは複数のセントラルモニタで共有可能であること。
- 1-8-5 手動記録、定時記録、アラーム記録機能を有すること。
- 1-8-6 レーザープリンタによりトレンドグラフ/リストレンド/リコール波形/長時間記憶波形における圧縮・拡大波形の記録が可能であること。

1-9 その他

- 1-9-1 停電時なども 60 分以上駆動可能なバッテリーを内蔵可能であること。
- 1-9-2 AC 電源接続時にはモニタリングを継続したままバッテリー交換が可能である事
こと。
- 1-9-3 意図しない停電やウイルス感染リスク、OS の陳腐化によるバージョンアップな
どのリスクを避けるために、Windows 系の OS を使用していないこと。
- 1-9-4 メンテナンス性能を考慮しハードディスクを搭載していないこと。
- 1-9-5 定期的な再起動が必要ないこと。
- 1-9-6 患者情報保護の観点から、スリープモニタに患者名を表示しない機能を有す
ること。
- 1-9-7 持続的にモニタリングすることから消費電力は 100VA 以下であること
- 1-9-8 耐用年数は 6 年以上であること。

2. 搬送用モニタにおいて以下の要件を満たすこと

2-1 ディスプレイ

- 2-1-1 ディスプレイ部は 7 インチワイドタイプカラーLCD であること。
- 2-1-2 1画面に最大14 波形の同時表示が可能であること。
- 2-1-3 計測値を 拡大して表示する機能を有すること。
- 2-1-4 計測値を拡大して表示する機能を有すること。
- 2-1-5 患者の負担を考慮し、画面を非表示にできるスリープ機能を有すること。
- 2-1-6 モニタリングは成人、小児、新生児に対応していること。
- 2-1-7 生体情報パラメータ用ケーブルコネクタはリスクマネジメントの観点からコネク
タはずれを防止するためのロック機構が設けられていること。

2-2 操作

- 2-2-1 タッチパネルまたは固定キーによる操作が可能であること。
- 2-2-2 操作の簡素化を図る為のショートカットキーを 5 個以上有すること。

2-3 測定項目

- 2-3-1 心電図、呼吸、経皮的動脈血酸素飽和度、非観血血圧、観血血圧 4ch、体
温 6ch、心拍出量、呼気終末炭酸ガス濃度を測定可能であること。

2-4 心電図測定

- 2-4-1 計測範囲は0, 12~300bpm の範囲で測定が可能であること。
- 2-4-2 除細動装置に対する保護回路を有すること。
- 2-4-3 ST計測機能を有し計測点の変更が可能であること。
- 2-4-4 12 誘導解析機能を有すること。

2-5 呼吸波形

- 2-5-1 計測範囲は0, 4~150bpm の範囲で測定が可能であること。
- 2-5-2 無呼吸時間 (APNEA) の計測が可能であること。
- 2-5-3 インピーダンスでの計測が可能であること。

2-6 動脈血酸素飽和度計測

- 2-6-1 計測範囲は1～100%の範囲で測定が可能であること。
- 2-6-2 測定方式は、体動、低灌流時にも対応できる前額部センサーを使用できること。
- 2-6-3 ディスポプローブの使用が可能であること。
- 2-6-4 動脈血酸素飽和度の変化を同期音の音程にて把握できること。

2-7 非観血血圧計測

- 2-7-1 計測範囲は0～300mmHgの範囲で測定が可能であること。
- 2-7-2 手動/定時/連続にて計測が可能であること。
- 2-7-3 測定の終了を音で知らせる機能を有すること。

2-8 観血血圧計測

- 2-8-1 計測範囲は-50～300mmHgの範囲で測定が可能であること。
- 2-8-2 ゼロバランスが容易に行えること。
- 2-8-3 観血血圧から脈拍数を計測し、脈拍数計測値棒が表示できること。

2-9 体温計測

- 2-9-1 計測範囲は0～45℃の範囲で測定が可能であること。
- 2-9-2 YSI-400シリーズのプローブを使用可能であること。

2-10 アラーム

- 2-10-1 アラームは、重要度に応じて3段階以上にて通知する機能を有すること。
- 2-10-2 アラームは、IECの規格に準拠したアラーム表現が可能であること。
- 2-10-3 アラーム設定画面において、特定の管理者のみが操作可能にするため、パスワードロック機能を有すること。
- 2-10-4 アラーム設定に関しては、メーカーデフォルト以外にユーザーデフォルトの登録が可能であること。
- 2-10-5 アラーム音は消音できない様に、最小設定値を設定できること。
- 2-10-6 アラーム発生時には、画面表示や音だけでなくディスプレイ上部に付属したLEDによる通知が行えること。
- 2-10-7 アラームの重症度を変更する機能を有すること。
- 2-10-8 アラーム閾値を2重化し、アラームの聞き逃しを防ぐ機能を有すること。

2-11 その他

- 2-11-1 OCRG 機能を有すること。また OCRG 機能において呼吸ソースをインピーダンスとCO₂の切替が可能であること。
- 2-11-2 電波法に定められた特定小電力医用テレメータに準拠したデジタルA型送信機を装着することで、測定データをセントラルモニタへ無線通信できる機能を有すること。
- 2-11-3 患者の個人情報保護の観点から画面輝度や同期音等を抑える機能を有すること。
- 2-11-4 モニタを使用するセグメント毎に使用しやすくするために、患者区分の選択はユーザーデフォルトが登録可能であること。
- 2-11-5 時刻変更はパスワード管理が可能であり、複数の管理者パスワードで解除可能であること。

- 2-11-6 操作キーに関して、キーロックをかけることができ、パスワードにて解除が可能であること。
- 2-11-7 3種類のパスワードで操作ロックが可能であること。
- 2-11-8 パスワードは最大3通り設定可能であり、3通りに優先順位が設けられていること。
- 2-11-9 搬送を考慮して連続して5時間以上の電源供給が可能なバッテリーを有すること。

3. 生体情報モニタシステムにおいて以下の要件を満たすこと

3-1 ハードウェア機能(ファイルサーバー)

- 3-1-1 CPUはインテル Xeon プロセッサ E3-1220v3 相当以上の性能、機能を有すること。
- 3-1-2 OSはRed Hat Enterprise Linux7 準拠の性能、機能を有すること。
- 3-1-3 ハードディスクの物理容量は600GB×3(RAID5構成)、HotSpare x1以上であること。
- 3-1-4 メモリは8GB以上であること。
- 3-1-5 ネットワークは2ポート、100Mbps以上であること。
- 3-1-6 無停電電源装置のバッテリーが少なくなった際には、各サーバを安全にシャットダウンさせる機能を有すること。

3-2 ハードウェア機能(Webサーバー)

- 3-2-1 CPUはインテル Xeon プロセッサ E3-1220v3 相当以上の性能、機能を有すること。
- 3-2-2 OSはRed Hat Enterprise Linux7 準拠の性能、機能を有すること。
- 3-2-3 ハードディスクの物理容量は600GB×3(RAID5構成)、HotSpare x1以上であること。
- 3-2-4 メモリは8GB以上であること。
- 3-2-5 ネットワークは2ポート、100Mbps以上であること。
- 3-2-6 無停電電源装置のバッテリーが少なくなった際には、各サーバを安全にシャットダウンさせる機能を有すること。

3-3 ハードウェア機能(DBサーバー)

- 3-3-1 CPUはインテル Xeon プロセッサ E3-1220v3 相当以上の性能、機能を有すること。
- 3-3-2 OSはRed Hat Enterprise Linux7 準拠の性能、機能を有すること。
- 3-3-3 ハードディスクの物理容量は600GB×3(RAID5構成)、HotSpare x1以上であること。
- 3-3-4 メモリは8GB以上であること。
- 3-3-5 ネットワークは2ポート、100Mbps以上であること。
- 3-3-6 無停電電源装置のバッテリーが少なくなった際には、各サーバを安全にシャットダウンさせる機能を有すること。

3-4 基本機能

- 3-4-1 救急病棟(ICU 含む)のセントラルモニタと接続し、システムが提供する機能(本仕様書の全記載内容)を使用することができること。
 - 3-4-2 セントラルモニタにて管理されているすべての患者の生体情報を、最大1536chの波形取得ができる機能を有すること。
 - 3-4-3 1床につきデータの切れ目なく連続30日間分以上の波形データを記録する機能を有すること。
 - 3-4-4 保存されたデータは30日間データの削除が行われず保存され続ける機能を有すること。
 - 3-4-5 波形データのサンプリング間隔は8mmsec以下であること。
 - 3-4-6 計測値データのサンプリング間隔は1sec以下であること。
 - 3-4-7 画面表示として、患者一覧画面、履歴画面、実波形画面、長時間画面、イベントリコール画面、リストトレンド画面、グラフトレンド画面、12誘導解析画面、メッセージボード画面を有すること。
 - 3-4-8 Webを使用して、全院内電子カルテ端末から上記画面の参照ができること。
 - 3-4-9 Webを使用して、全院内電子カルテ端末から3-4-7を過去30日間の波形データに関しても参照できること。
 - 3-4-10 患者情報がない状態で保存されたデータも、後からシステム側に患者情報を付加させる機能を有すること。
 - 3-4-11 期間指定した範囲の波形はデータ保存期間に関係なく、システム上に永続的にデータ保存する機能を有すること。
- 3-5 患者一覧画面
- 3-5-1 患者一覧画面はソート機能を備え、部門、患者ID、氏名、入床日時などで昇順・降順のソートする機能を有すること。
 - 3-5-2 各患者データには、現在データを更新中なのか、退床したのか、保存されたデータなのかわかるようにステータスアイコンが表示されること。
 - 3-5-3 上記の保存されたデータについては保存コメントとコメントの最終登録者と登録日時が表示されること。
 - 3-5-4 患者一覧画面を折りたたむことが出来、波形を見ながら患者の切替を行う機能を有すること。
 - 3-5-5 検索機能を備えており、患者ID、氏名、部門名、保存期間、ベッド番号、入床日、性別、年齢、ペースメーカーの使用/不使用、看護チーム名で検索できること。
- 3-6 患者情報表示
- 3-6-1 患者情報として、患者氏名、患者ID、年齢、性別、部門、患者区分マーク、チームナーシングカラーが表示されること。
 - 3-6-2 患者情報表示領域をクリックすることで、患者情報詳細画面が表示できること。
- 3-7 履歴画面
- 3-7-1 参照しているデータと同じ患者IDのデータは履歴画面にリスト表示されること。
 - 3-7-2 履歴リストには部門、ベッド番号、入室日時、保存期間と共に、入床状況の遷移をグラフィカルに参照できる履歴バーを表示できること。
- 3-8 実波形画面

- 3-8-1 実波形画面では1画面につき最大 24 個のパラメータ表示ができること。
- 3-8-2 実波形画面では1画面につき最大 8 波形表示できること。
- 3-8-3 表示する波形・計測値を選択できる機能を有すること。
- 3-8-4 モニタによる不整脈判定、アラーム情報を表示できること。
- 3-8-5 同レベルのアラーム情報が重なった場合は、アラームメッセージをクリックすることで同時発生しているアラームがポップアップですべて表示されること。
- 3-8-6 アラーム対象となる数値項目は色が赤く反転して表示されること。
- 3-8-7 拡大波形の感度をパラメータ毎に変更できる機能を有すること。
- 3-8-8 画面レイアウトの設定を行うことができ、レイアウトパターンの選択することで容易に画面レイアウトを変更できる機能を有すること。
- 3-8-9 波形のクリップ機能を ON、OFF することができること。
- 3-8-10 ディバイダ機能を搭載していること。
- 3-8-11 表示している心電図部分をクリックすることで、クリック時間周辺 3 秒間分の心電図が拡大して表示されること。
- 3-8-12 上記で拡大した心電図に対し、キャリパ機能を使用することが出来ること。
- 3-8-13 波形比較ボタンをクリックすることで、任意の 5 箇所の波形比較を行える機能を有すること。
- 3-8-14 任意に選んだ比較波形にコメントがそれぞれ付けられる機能を有すること。

3-9 長時間画面

- 3-9-1 長時間画面は瞬時心拍トレンドと、長時間波形で構成されること。
- 3-9-2 任意の時間に画面をスクロール又はジャンプさせる機能を有すること。
- 3-9-3 波形の任意の場所を指定して、その時点での拡大波形画面を表示できること。
- 3-9-4 表示する波形と感度を選択・変更できる機能を有すること。
- 3-9-5 5 種類のマーカーにユーザイベントなどを任意に指定し、表示することができること。
- 3-9-6 波形のクリップ機能を ON、OFF することができること。
- 3-9-7 画面上に付箋を貼り付けることが出来、5 色の背景色(台紙色)とコメントを入力する機能を有すること。
- 3-9-8 画面上の付箋表示の ON、OFF することができること。
- 3-9-9 登録している付箋をリスト表示することが出来ること。
- 3-9-10 リストには背景色(台紙色)とコメントの内容が一覧で表示され、登録内容をクリックすることで付箋位置まで長時間画面の時間が遷移すること。
- 3-9-11 モニタのアラームレベルに応じて、背景色を 3 段階まで変更、表示できること。

3-10 イベントリコール画面

- 3-10-1 保存期間内全てのリコール波形の参照機能を有すること。
- 3-10-2 リスト表示機能を有し、表示項目として発生日時、イベント種類の表示機能を有すること、またサムネイル波形も同画面にて参照できること。
- 3-10-3 リスト表示から選択したリコール波形を拡大表示する機能を有すること。
- 3-10-4 イベントに対してコメントを付与する機能を有すること。
- 3-10-5 Asystole や VF など、イベントの種類、付与したコメントによる表示フィルタリング機能を有すること。

3-11 リストトレンド画面

- 3-11-1 1画面で最大 20 項目の計測値を参照できる機能を有すること。

- 3-11-2 表示間隔は1分から1時間の間で変更できる機能を有すること。
 - 3-11-3 表示するパラメータの組み合わせを任意に登録できる機能を有すること。
 - 3-11-4 リスト表示時刻の拡大波形を参照できるボタンを有すること。
 - 3-11-5 リストトレンドの内容を指定した期間、間隔でCSV出力することが出来ること。
 - 3-11-6 表示間隔でNIBPを選択するとNIBPリスト画面を表示すること。
 - 3-11-7 NIBPリストでは、NIBPの測定完了時間とともに、その時刻の計測値を表示することができること。
 - 3-11-8 NIBPリストの内容を指定した期間でCSV出力する機能を有すること。
- 3-12 グラフトレンド画面
- 3-12-1 1画面で最大6項目の計測値とトレンド表示ができる機能を有すること。
 - 3-12-2 モニタでアラームがなった時間はトレンド内に赤いバーで表現できること。
 - 3-12-3 指定した不整脈が発生した時間はトレンド内に赤いバーで表現できること。
 - 3-12-4 画面レイアウトを表示パターンとして登録し、その表示パターンを呼び出す機能を有すること。
 - 3-12-5 閾値の設定をすることで、その条件に当てはまる時間帯はトレンド内に塗りつぶして表現できること。
- 3-13 12誘導解析画面
- 3-13-1 12誘導画面は解析結果一覧と、解析は軽画面で構成されること。
 - 3-13-2 解析結果一覧は解析日時で昇順・降順のソートする機能を有すること。
 - 3-13-3 6chフルリード画面とドミナント画面の切替ができる機能を有すること。
 - 3-13-4 初見名、初見コード、ミネソタコードの表示をON、OFFすることができること。
 - 3-13-5 12誘導解析画面に対し、キャリパ機能を使用することが出来ること。
- 3-14 メッセージボード画面
- 3-14-1 上記画面にて登録した波形とコメントの内容の一覧を参照できるメッセージボード画面を有すること。
 - 3-14-2 メッセージボード画面では、各登録内容に対し、使用者が返信を行いツリー状でコメントの内容を確認する機能を有すること。
 - 3-14-3 他ユーザへ登録内容を通知する機能を有すること。
 - 3-14-4 通知を受信したユーザには通知マークと未確認通知の件数が表示されること。
- 3-15 お絵かきメモ
- 3-15-1 システム上の任意のスクリーンショット画像に対して、ペイントツールを用いて情報付加を行うことができるお絵かきメモ機能を有すること。
 - 3-15-2 お絵かきメモにて、フリーのライン、四角形、円形、テキストの入力機能を有すること。
 - 3-15-3 お絵かきメモにて、色の変更、線の太さの変更機能を有すること。
 - 3-15-4 描画したスクリーンショットをメッセージボード画面に登録機能を有すること。
- 3-16 アラーム設定参照画面
- 3-16-1 1患者毎に各測定値と不整脈のアラーム ON/OFF 設定状態と基準値を確認する画面を有すること。
 - 3-16-2 セントラルモニタ毎の患者の各測定値と不整脈のアラーム ON/OFF 設定状態と基準値を一覧で確認する画面を有すること。

3-17 セキュリティ機能

- 3-17-1 データの参照や入力、保存を行うとき、ユーザIDとパスワードの要求を行い、データの改竄の防止を行えること。ただし、電子カルテシステムにログインしたユーザが、電子カルテシステムの一機能としてアクセスする場合は、既に認証されているものとして扱われること。
- 3-17-2 ユーザ毎に参照ユーザ・フルアクセスユーザ・管理者ユーザの権限を設定できる機能を有すること。
- 3-17-3 アカウントの編集は管理者のみが可能であり、又各人が任意にパスワードを変更できる機能を有すること。
- 3-17-4 一定時間を経過した場合は、自動的にデータ参照権を放棄できること。
- 3-17-5 データの参照やコメント入力した際の日時を記録したログを一定期間保持すること。

Ⅲ.機能、性能以外に関する要件

1. 設置条件

1-1 設置場所

設置場所は、当院が指定した納入場所に設置すること。

1-2 搬入、据付、調整

- 1-2-1 機器の搬入、据付、調整については、当院の診療業務に支障をきたさないよう、当院担当者と協議の上、その指示によること。
- 1-2-2 本物品の設置に当たっては、設置場所を十分確認の上搬入し、据付完了後、各システムが正常に動作するように調整すること。また、当院施設等に損傷を与えないよう十分注意すること。
- 1-2-3 本物品の設置に伴い、不要となる機器がある際には併せて搬出及び回収を行うこと。

2. 保守体制

納入検査確認後1年間は、通常の使用により故障した場合の無償修理に応じること。

3. 障害支援体制

障害時において復旧の為の通報を受けてから48時間以内に現場対応できる体制であること。

4. その他

- 4-1 導入に当たり、本物品の運用管理担当者に対して、必要な教育訓練及び支援を行うこと。
- 4-2 本システムの説明書、操作マニュアルは、日本語版を提供すること。

以上